

4月に発足した「飯館花卉協議会」が来庁 杉岡村長と懇談しました

4月1日に発足した「飯館花卉協議会」が、村役場を訪れ、村長と懇談。協議会の趣旨などを説明し、意見を交わしました。

同協議会は、飯館村の花弁生産技術の向上や生産者の所得向上を目指して、講習会、研修会などの事業を行っていきます。また、県や村、JAとの連携を図り、村全体の花卉生産の振興に資することを目的としています。

この日は、会長の西川徳(いさお)さん(宮内)、副会長兼会計の佐藤照子さん(比叢)、顧問及び相談役の北原彰さん(宮内)が来庁。JAふくしま未来からは、営農経済担当常務の西幸夫さん(八木沢・芦原)、飯館営農センター長の川井智洋さん(二枚橋・須萱)、飯館営農センター職員の菅野朋宏さんも同席し、今後に向けた取り組みについて、意見を交わしました。

また、避難先の栃木県那須塩原市で花卉生産に取り組む北原さんが、栽培するカンパニュラの花束を持参し、村に贈りました。



きこりで開催!『ごきげん対談コンサート』

5月16日、発達心理学と声楽を組み合わせた『第4回ごきげん対談コンサート』が、宿泊体験館きこりで開催されました。主催は任意団体の「ごきげんソサエティー」。声楽家の馬場由香先生と発達心理学者の今岡多恵先生が、ライブステージに応じた対人関係をテーマに対談しました。また、対談の中で、馬場先生が、やさしくかつ迫力ある歌声で歌を披露。今岡先生が、歌詞に込められた“人とのつながり”を、発達心理学の視点から解説しました。フィナーレには、参加者も一緒に、「川の流れのように」を歌い、会場が和やかな笑顔に包まれました。



特製のスコーンと温かな飲み物で交流する場面も。参加者はリラックスして観覧し、心癒される時間を過ごしていました。



「飯館村相馬流山踊保存事業」東日本鉄道文化財団が支援事業に採択

公益財団法人東日本鉄道文化財団の「地方文化事業支援」に、『飯館村相馬流山踊保存事業』が採択されました。

5月15日に、交流センター「ふれ愛館」で、同支援の承認書贈呈式が行われました。式には、保存会の中川ひろみ会長(宮内)と高橋スイ子副会長(小宮)が出席し、見事な踊りも披露しました。

同文化財団の日野正夫理事長が、災害やコロナ禍を乗り越えての継承活動に敬意を伝え、中川会長が、「ご支援とご厚意を励みに、これからも継承に力を尽くしたい」と感謝を述べました。



支援は陣笠の購入や舞踊の講習に活用します。



昨年の相馬野馬追では式典で踊りを披露しました。



5月3日開催の「飯樋四区復興祭」にも出演。

婦人会が美化活動ボランティア

5月9日、飯館村婦人会(長谷川花子会長/前田)が美化活動を実施しました。

この日の活動には12人が参加し、交流センター「ふれ愛館」前から村役場までの道路沿いとセンター地区周辺で、ごみ拾いを行いました。

婦人会の皆さんは、環境美化のボランティアの他、地域のためのさまざまな活動を行っていて、会員を随時募集しています。応募の連絡は長谷川会長 ☎090-6250-6748まで。



いいたて球場で女子野球大会

4月25日、いいたて球場で、読売巨人軍主催「第4回女子野球GIANTS杯・福島大会2026」の1回戦、2試合が実施されました。

作新学院高校(栃木県)対東海大付属静岡翔洋高校(静岡県)、学法石川高校(福島県)対新潟医療福祉大学(新潟県)の2試合で、声援の中、選手達が全力プレーで熱戦を繰り広げました。決勝戦は28日に県営あづま球場(福島市)で行われ、仙台大学(宮城県)が初優勝を飾りました。

